

湊川相野学園 ニュース No. 31

発行: 2017年6月
湊川相野学園理事長室会

ひとを育て、ともに歩んで100周年



三田松聖高等学校「松聖祭」

第63回松聖祭が《文化の部6月9日(金)10日(土)、体育の部13日(火)》に行なわれました。今年のテーマは「The sky is the limit～可能性は無限～」、人間の能力や可能性は空のように限界が無い、無限大であることを表しました。この松聖祭は、生徒会活動の中で生徒、教師、後援会の心が一つにまとまる最も重要な行事として位置づけられています。生徒各自が楽しみながら自己表現の場として、また、高校生活の思い出として文化・運動それぞれの分野でイベントを創りあげてくれました。開催期間中は好天に恵まれ、多くの保護者がお越しになりました。生徒のハレの場をこれからも大切にしていきたいと思っております。

The sky is the limit ～可能性は無限～



「キャリア教育センターの新しい試み」

キャリア・デザイン・コースは1クラス学生数を30人規模5クラスにし、ラーニング・コモンズにて、1テーブル5～6人が着席するよう授業開始前にくじを引いてテーブルを決め、「友達同士」で島を作ることを避けた。この結果、授業中孤立する学生はいない。授業開始時には、共に学ぶ者として、全員立ち、教員に対して礼をし、テーブルの友達に対して礼をして授業を始め、授業の終わりも同様、礼で授業を締めくくっている。これは学問に対する尊敬の念と共に学ぶ者への敬意であると同時に、授業のON/OFFの切り替えとしている。授業では、大学生としての自覚と自信を持たせることと、短大生活は2年しかないことを踏まえて、就職に向けての準備をしている。テキストである「人間力が豊かな人生を拓く」の1節を前週に指名された学生が、全員の前で朗読し、1. 著者が主張しようとしたこと、2. 読後の感想を話し、その後グループで話し合い、意見交換したものをグループの代表者が発表し、担当教員がコメントをしている。朗読の意味を理解し、「目で読む」、「口で読む」、「耳で聞く」、「心で読む」ことを勧めている。緒に就いたばかりではあるが、確かな手ごたえを感じている。



短大附属北摂第一幼稚園 「農業体験」 短大附属北摂中央幼稚園

北摂第一幼稚園と北摂中央幼稚園の年長組合計140名が波豆川地区との交流で田植えに行きました。お手伝いに両園の有志保護者も40名来て下さり田植えした園児から体を洗ったり、着替えの補助をしてくださったりし、大変助かりました。園児の後に保護者も田植えの体験をし、五月晴れの気持ち良い中、楽しんでもらえました。昨年からはじめたこの田植えも地区の組員さんが親切に準備、管理をしてくださり、温かい雰囲気での交流ができ、感謝の一言につきます。今年もこしひかりの苗を植え、秋には稲刈りで再度訪れる予定です。



「ぼるとこども園訪問」

6月5日(月)、今年3月に開園した小規模保育施設 短大附属ぼるとこども園(幸田瑞穂園長)におじゃましました。現在常勤保育士6名、非常勤保育士4名、短大専攻科学生(保育士)3名体制で0歳児～2歳児までの18名をお預かりしています。幸田園長に以前の幼稚園との違いをお聴きしたところ、「保育人数が少ない分、子ども達とより密接なふれあいができること、保護者の方になるべく負担が少ないよう園のイベントを少なくしていること、園庭は有りませんが、連携園や近くの中央公園、すずかけ台公園、はじかみ池公園などへ出かけ、人やもの・自然に親しみのびのび保育ができています」とのこと。若く元気いっぱいのスタッフとこどもたちとの素敵な空間でした。



お知らせ

湊川相野学園同窓会総会の開催

6月25日(日)午後10時より、湊川短期大学 本館2階205号室にて湊川相野学園同窓会総会が開催されます。平成28年度事業報告、平成29年度事業計画などの発表の他、三田松聖高等学校則木校長の講演会もありますので、皆様のご参加お待ちしております。